



Be a **Top Learner!**

茨城県立**並木中等教育学校**

2023年度 学校案内



School Guide 2023
Namiki Secondary School

並木中等は第3ステージへ!



能動的な学びのできる人間力を備えた
グローバルリーダーの育成をめざして

校訓

自制

自分の感情・欲望・わがまを抑える。

自律

みんなが正しいと認めるルールを自らつくり、それにしたがって行動する。

自尊

世界に一人しかいない、かけがえのない自分やみんなを大切にする。



ICTを活用した授業



SDGsを取り入れた社会科の授業

校歌

作詞◆谷川 俊太郎 作曲◆小室 等

せめぎあう夢をはぐくみ
明日へとむかうこの今
光年の宇宙のかなた
新しい星は生まれる
ともどもに学び語らい
限りなくはばたく自由
かくされた知恵をあつめて
昨日からつづくこの今
めくるめく歴史の深み
よみがえる緑かがやく
ひとり立つここに始まり
地平へとつらなる並木

校長 あいさつ



6年間中高一貫教育校

本校は、2008年4月に6年間中高一貫教育校として開校し、今年で16年目を迎えました。校是である“Be a top learner!”(高き学習者たれ!)のもと、「次代の日本や世界の発展を担っていける人間力を備えた、グローバルリーダーの育成」に取り組んでおります。

誰かと比較して優劣を競うのではなく、学習活動や日常の場面において、自分なりの課題を発見し解決しようと試行錯誤することを能動的にできる人材、すなわち“top learner”こそが、これからの予測不可能な社会において、課題に対して果敢に挑戦し、前向きに国際社会を導いていけるリーダーになり得ると考えます。

探究活動や体験活動

こうしたグローバルリーダーを育成するために、本校では「人間教育」「科学教育」「国際教育」の3本の柱のもと、探究活動や体験活動を重視した6年間の学習活動を体系的に展開しております。

また、筑波研究学園都市の一角に位置しているという地域性を最大限に活かし、大学や研究施設との連携による科学教育はもちろん、外国からの研究者、海外姉妹校との交流による国際教育にも積極的に取り組み、本物を体験できる機会を設けております。

さらに、昨年、文科省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)として3期目の指定を受けました。「理数系イノベーション人材の育成」をテーマに、弁証法的対話の授業への導入、失敗を乗り越え試行錯誤する力の育成を推進してまいります。

進学実績

これまで、卒業生を10回送りだしてきましたが、生徒や先生方の努力により、素晴らしい進学実績を残しています。詳細は「大学合格状況」のページに記載しておりますが、今春だけでも、東京大学9名、京都大学5名(内2名は過年度卒)を含め、難関大学に多数の合格者がでており、卒業生144名のうち、過半数を超える78名の生徒が国公立大学に、また難関私大にも数多くの生徒が合格しております。最後まで志望を貫く、粘り強い姿勢と質の高い学力を6年間で身につけた結果の現れととらえております。

今後の躍進

本校を巣立った卒業生の多くは20代ですが、既に様々な分野で活躍しております。そして、時折来校しては、在校生に仕事の話や先輩としてのアドバイスをしてくれています。

世代を越えてつながっていく“top learner”たちが、今後、日本で、世界で大いにその力を発揮してくれることでしょう。

並木中等教育学校は、戦略的な探究活動と高い進学実績を強みにこれからも進化し続けます。

茨城県立並木中等教育学校 校長 深澤 美紀代

SSH成果報告会口頭発表

並木中等の基本理念

教育理念・建学の精神 3SRs!

『自制』(Self-Restraint) 『自律』(Self-Reliance) 『自尊』(Self-Respect) を全ての教育活動の根本理念とした、能動的な学びのできる「人間力」を備えたグローバルリーダーの育成。

目指す学校像 *Be a top learner!*

- ◆ 様々な体験学習を通して広く人間教育を行う学校
- ◆ 筑波研究学園都市の一角に位置するという地域性を生かし、大学や研究機関等と連携して科学教育を行う学校
- ◆ 外国からの研究者・留学生との交流や海外語学研修などを通して、国際教育・コミュニケーション能力育成教育を行う学校

並木中等教育学校の魅力

6年間を見通した教育実践
～様々な体験活動を通して
課題解決能力を身につける～

並木スタンダード!!

- 体系化された6年間を見通した教科活動
- アクティブ・ラーニング、TO学習、クロスカリキュラム等の多彩な授業実践
- 並木メソッド(物事の本質を体系的に深く追究する体験活動)
- 1人1台端末によるICT教育の推進
- SSHのサイエンスプログラム

新たな中高一貫教育の展開

能動的な学びのできる「人間力」を備えた
グローバルリーダーの育成

発展期

5・6年次「志高く進路実現に取り組む生徒の育成」

- 思考力・判断力・表現力等を育む並木メソッドの集大成
- 進学重視型単位制を生かした学校設定科目で多様な進路実現をサポート

充実期

3・4年次「高校入試のないゆとりある時間の効果的な活用」

- 3年次から後期課程(高等学校)の内容の一部を学習
- 国内外の文化に触れ国際感覚を養う研修機会の充実
- キャリア教育における体験活動の充実

基礎期

1・2年次「top learnerとしての自覚の喚起と基礎基本の充実」

- 55分授業で標準授業時間数(学習指導要領)より年間140時間多く確保し、基礎基本の定着と発展的内容を充実
- A L TとT Tにより多彩できめ細やかなハイレベルの英語教育を展開
- 科学的な見方や考え方を育てる発表会や体験活動等への積極的な参加

人間力

科学教育

SSHで科学教育を推進!

▶ p5・6

国際教育

茨城県内初のUNESCO SCHOOL!

▶ p7・8

人間教育

様々な体験から己を知る!

▶ p9・10

【令和5年度 教育課程編成表】

●前期課程は中学校に相当、後期課程は高等学校（全日制 普通科 単位制）に相当

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
前期課程	1年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	総学	学活																				
		4	3	5.5	4	1.3	1.3	3	2.5	5	1	1.4	1																				
	2年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	総学	学活																				
	4	3.5	5.5	4	1	1	3	2	5	1	2	1																					
3年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	総学	学活																					
	4	4	5.5	4.5	1	1	3	1	5	1	2	1																					

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
後期課程	4年	○現代の国語	○言語文化	○歴史総合	○公共	○数学Ⅰ	数理科学A*	○SS物理基礎*	○SS生物基礎α*	○体育	○保健	○音楽I or ○美術I	○英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	○情報Ⅰ	○課題探究基礎*	○総探	○LHR	○課題探究Ⅰ*																
		2	3	2	2	3	2	2	2	3	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1															
	5年(文系)	論理国語	古典探究	○地理総合	日本史探究 or 世界史探究	数学Ⅱ	数理科学B*	○化学基礎	○SS生物基礎β*	○体育	○保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ	○家庭基礎	○総探	○LHR	○課題探究Ⅱ*																		
		2	3	2	4	4	2	2	1	2	1	4	2	2	1	1	1	1	1	1															
	5年(理系)	論理国語	古典探究	○地理総合	数学Ⅱ	数理科学B*	SS物理α* or SS生物α*	○SS化学基礎*	○体育	○保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ	○家庭基礎	○総探	○LHR	○課題探究Ⅱ*																			
	2	3	2	4	2	3	4	2	1	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1																
6年	現代文B	古典B	世界史演習* or 日本史演習*	地理演習* or 公民演習*	数学演習Ⅰ*	理科演習Ⅰ*	理科演習Ⅱ*	○体育	リーディング演習Ⅱ*	ライティング演習Ⅱ*	○総探	○LHR	○課題探究Ⅱ*																						
	3	3	5	3	5	1	2	2	4	3	1	1	1																						
6年(理系)	現代文B	古典B	地理演習* or 公民演習*	数学Ⅲ or 数学演習Ⅰ*	数学演習Ⅱ*	SS物理β* or SS生物β*	SS化学*	○体育	リーディング演習Ⅱ*	ライティング演習Ⅱ*	○総探	○LHR	○課題探究Ⅱ*																						
	2	3	3	5	2	3	4	2	4	3	2	4	3	1	1	1	1	1	1																

総探：「総合的な探究の時間」 ○：必修科目 *：学校設定科目

■55分授業により、ゆとりある授業時数を確保！

○前期課程（中学校に相当）では、標準（中学校学習指導要領）より**420時間（年間140時間）**多く確保し、基礎基本の定着と発展的内容を充実。

■アクティブラーナー（能動的学習者）をサポートする充実した環境！

- 休日や平日20：00まで利用可能な多目的学習館 → 「ブライトホール」
- 質問しやすい雰囲気づくり → 職員室前の「セルフスタディスペース」
- 生徒同士で学習し、議論する場 → 「ラーニング・commons」

日課表	
朝の会(前期課程) SHR(後期課程)	8:20 ~ 8:30
第1校時	8:35 ~ 9:30
第2校時	9:40 ~ 10:35
第3校時	10:45 ~ 11:40
第4校時	11:50 ~ 12:45
昼休み (前期課程 給食)	12:45 ~ 13:35 (12:45 ~ 13:30)
第5校時	13:35 ~ 14:30
第6校時	14:40 ~ 15:35
清掃	15:35 ~ 15:50
帰りの会(前期課程) SHR(後期課程)	15:50 ~ 16:00
部活動 (前期課程の11~2月)	16:05 ~ 18:00 完全下校 18:15 (16:05 ~ 17:30 完全下校 17:45)
※ 第7校時（課題探究）水曜日	15:55 ~ 16:50



1人1台端末を活用した理科の授業



自分のペースで自習に取り組めるブライトホール



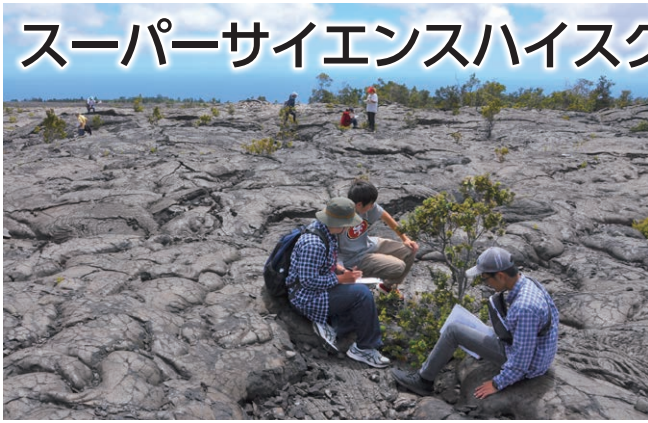
ラーニング・commonsでの国語の授業



総合実践室での年次授業

科学教育

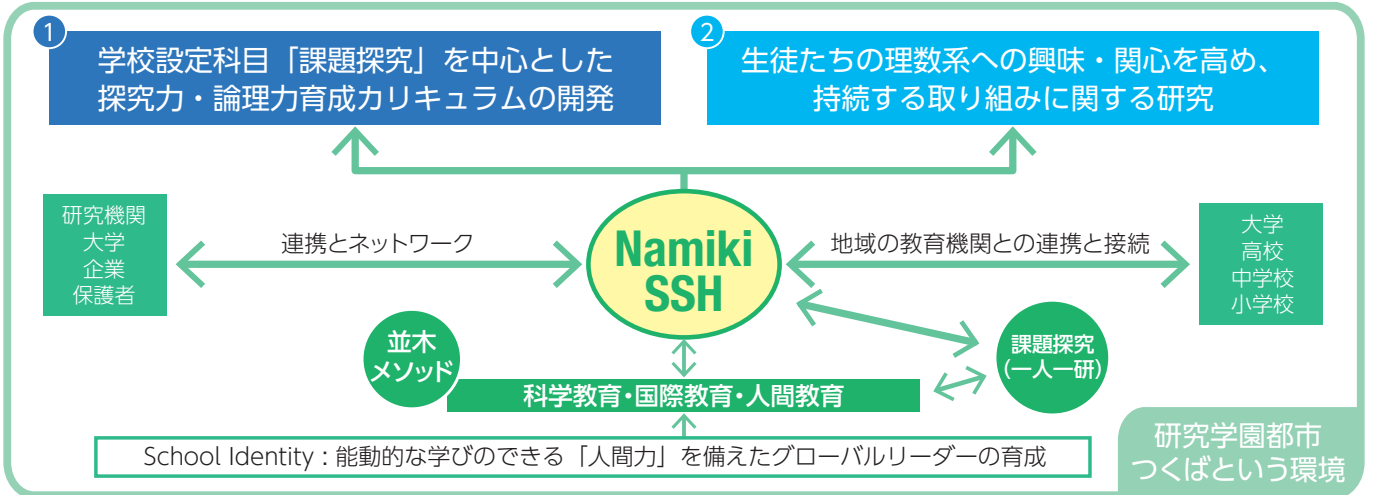
スーパーサイエンスハイスクール (SSH) で科学教育を推進！



本校は2012年にSSH第1期の指定を受け、2022年にはSSH第3期の指定を受けることができました。将来の国際的な科学技術人材を育成するために、先進的な理数教育を実施しています。

① 学校設定科目「課題探究」を中心とした探究力・論理力育成カリキュラムの開発

② 生徒たちの理数系への興味・関心を高め、持続する取り組みに関する研究



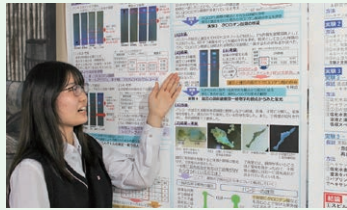
第46回全国高等学校総合文化祭自然科学部門 研究発表化学部門 奨励賞 他

三浦 愛生 6年 (水戸市立河和田小学校出身)



◆私は、紫外線を当てたバンジーのめしべやがくが青色に蛍光する現象を調べています。昨年度までは蛍光する部位や条件を調べていましたが、今年度は、蛍光する成分の特定を目指して、研究を進めています。◆バンジーに含まれている蛍光成分は分からないのでゼロからのスタートでしたが、3年次生までに身に付けた考え方や手法を発展させて、様々な実験を行いました。研究を進めるなかで、多くの失敗があり、熟考の末立てた仮説が外れることも何度もありました。弱音を吐きかけたこともありました。でも、得られたデータを丁寧に分析し、失敗を活かしながら実験を繰り返す中で、理にかなった考察を得られたときは、弱気になっていた時のことを忘れるほど喜びました。膨大な数のデータがあったからこそ、得られた成果は大会での受賞経験とともに自分と研究に対する大きな自信になりました。

◆最後に、切磋琢磨してきた部活の仲間達、納得するまで一緒になって考えてくださった先生方、いろいろな質問に対応してくださった研究者の方々の支えがあったからこそ、これまで研究を続けてこられました。ご支援くださった方々に心より感謝申し上げます。



令和4年度茨城県高文連自然科学部研究発表会 研究発表生物部門 最優秀賞、地学オリンピック銅賞、科学の甲子園全国大会出場

山川 良空 6年 (土浦市立東小学校出身)



◆私はカイワレダイコンの胚軸の割れと植物ホルモンであるエチレンとの関係について研究を行っています。科学研究部の先生方や研究発表会で様々な方にアドバイスをいただき、たくさんの刺激を受け研究を続けることが出来ました。実験は上手くないことが多いですが、何度も同じ実験をすることもありました。しかし同じ作業であっても振り返りや反省を行うことで、努力を積み重ね、次に活かすことが出来たのではないかと思います。◆科学の甲子園は小学生の頃からの憧れで、その全国大会に出場するということでも貴重な体験をさせていただくことができ、本当に嬉しかったです。チームのメンバーと共に練習を重ね、本番に挑むという経験はかけがえのないものとなりました。私は筆記競技で地学を担当しており、地学に興味を持ち始め、地学オリンピックにも挑戦しました。地学オリンピックでも普段会うこと無いような方々と交流をすることができ貴重な経験となりました。勉強、部活にかかわらず、満足に自分の興味のあることに打ち込める環境に感謝し、これからも励んでいきたいと思っています。



◆令和4年度の主な科学系コンテスト受賞実績 (科学研究部の実績を含む)

コンテスト名	受賞内容等
第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ (JSEC2022)	協力社賞 (竹中工務店賞)
第46回全国高等学校総合文化祭自然科学部門	研究発表化学部門 奨励賞 / 研究発表生物部門 出場
第66回茨城県児童生徒科学研究作品展【前期】	茨城県教育研究会長賞 (3件) / げんでん財団科学賞 (3件) / つくば科学万博記念財団理事長賞 (2件)
同【後期】	茨城県協議会議長賞 / 茨城県教育委員会教育長賞 / 茨城県高等学校教育研究会長賞 / つくば科学万博記念財団理事長賞
茨城県高文連自然科学部研究発表会	研究発表化学部門 最優秀賞 / 優秀賞 研究発表生物部門 最優秀賞 / 優秀賞 / 奨励賞 ポスター (パネル) 部門 最優秀賞 / 優秀賞 / 奨励賞 ※第47回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表化学部門、同生物部門、同ポスター (パネル) 部門に茨城県代表として出場
第63回自然科学観察コンクール	佳作
第17回「科学の芽」賞	努力賞 (3件)

コンテスト名	受賞内容等
第16回高校生理科研究発表会	双葉電子記念財団研究奨励賞 / DIC株式会社総合研究所研究奨励賞 / 奨励賞 (2件)
WRO 2022 Japan 決勝大会	ロボミッションジュニア部門 出場
WRO Japan 北関東 2022 予選会	ロボミッションジュニア部門 優勝、同シニア部門 準優勝
第15回日本地学オリンピック	本選銅賞
第22回日本情報オリンピック	本選出場 (3名)
日本動物学会第95回早稲田大会 2022 高校生発表	高校生ポスター発表賞
日本植物学会第86回大会高校生ポスター発表会	優秀賞
第95回日本生化学会大会高校生発表	銅賞
第64回日本植物生理学会年会高校生生物研究発表会	特別賞
第12回科学の甲子園茨城県大会	茨城県知事賞 (第1位、全国大会出場) / 選考委員特別賞
第10回科学の甲子園ジュニア茨城県大会	茨城県教育長賞 (第2位)

学校設定科目「課題探究」を中心とした探究力・論理力育成カリキュラムの開発

- ◎前期課程（中学校に相当）と後期課程（高等学校に相当）の指導内容を再編成し、探究力・論理力を育成する6年間の系統的なカリキュラムを構築しています。
- ◎学校設定科目を開設し、カリキュラムの開発を行っています。
 - 「S S 物理基礎」、「S S 化学基礎」アクティブ・ラーニング、クロスカリキュラム、出前講義、課題解決型実験観察授業を取り入れ、探究力を育成します。
 - 「数理科学A、B」 数学の授業に理科の考え方を取り入れた、教科横断型の授業です。
 - 「課題探究基礎」 論文の検索やデータの統計処理など、課題探究に必要なスキルを身に付けます。
- ◎「ミニ課題探究」を1～3年次の総合的な学習の時間で行い、校内発表会（口頭発表、ポスター発表）、ミニ研究論文作成を通して、探究力、論理力を育成します。
 - 各年次に応じて、SDGs や哲学、地域社会等をテーマとした探究活動を行っています。
- ◎「課題探究」を4～6年次の3年間でを行い、研究論文作成、校内発表会（口頭発表、ポスター発表）を実施します。週1回のゼミ活動により、研究内容を深めます。
 - 課題探究ゼミ：人文、社会科学、国際文化、スポーツ科学、芸術、生活科学、物理、化学、生物、地球科学、情報科学、数学、医学、自然科学、SDGs



SSH成果報告会口頭発表



SSH成果報告会ポスター発表

生徒たちの理数系への興味・関心を高め、持続する取り組みに関する研究

- ◎SSH講座

各分野で活躍されている研究者等の講師を招いた体験型の実習講座です。
《2022年度に実施した主な講座》
「物質・材料研究機構の研究室を見学しよう（スマートポリマーが拓く最新医療）」、「地質学の研究者と行く筑波山フィールドワーク」、「資生堂の体験型ミュージアムS/PARKでワークショップ」、「半導体工場を見に行こう」、「JAXAの研究室を見学しよう」など
- ◎SSHサイエンスカフェ

各分野で活躍されている研究者等の講師を招いた座談会形式の講座です。
《2022年度に実施した主な講座》
「気候変動の研究者と話そう！地球温暖化による地球の未来」、「iPS細胞の研究者と話そう」、「センチュウを用いた最新医療」、「量子コンピュータの研究者と話そう」、「日産の電気自動車（EV）の未来」、「都市鉱山からレアメタルをリサイクルする」、「管理栄養士と話そう」、「放射線技師と話そう」など
- ◎SSH夏休み研究機関のインターンシップ

夏休みにつくば市内の研究機関で実施するインターンシップです。
《2022年度に実施したインターンシップ》
○建築研究所（3日間） ○国立環境研究所（3日間） ○産業技術総合研究所（3日間）
- ◎SSHハワイ島海外研修（5泊7日）

将来国際的に活躍する理系人材の育成を目指し、ネイチャーガイドとハワイ島でフィールドワークを行います。ハワイ火山国立公園でキラウエア火山の溶岩地形やハワイ島の固有植物についての調査、国立天文台ハワイ観測所で天文学について学びます。マウナロア山頂で行う満天の星空観測は絶景です。
- ◎SSH国内研修（伊豆大島、2泊3日）

ネイチャーガイドと伊豆大島をフィールドワークします。三原山の山頂で火山によって生まれた溶岩地形を観察します。溶岩によってまっさらになった溶岩台地からパイオニア植物が芽吹き、陽樹が育ち、陰樹が育って森が再生する植生遷移を観察します。溶岩や火山噴出物が生み出す壮大な地層を観察します。



SSH講座



SSHハワイ島海外研修



SSH国内研修（伊豆）

医学コース設置〔4年次で医学コースの選択を行い、5年次から実施〕

中等教育学校の特徴を活かして、3年次から医学プログラムに参加し、「医志」を育む体験活動を実施します。4年次から6年次の課題探究（医学ゼミ）において医療分野に関するテーマで探究活動を行います。多様なプログラムを通して医師として必要な資質・能力と高い学力を身につけるとともに豊かな人間性を養います。

○3、4、5年次（医師の仕事を知る・医学への理解を深める）

医学プログラム（ガイダンス、医療関係者との勉強会）
医療機関体験学習（大学・病院等）
医学ゼミ（医療分野に関する探究活動）

○6年次（目標を定め実現する）

医学ゼミ（医療分野に関する探究活動）
小論文・面接指導
個別試験対策指導



医学プログラム（大学病院見学）

茨城県内初のUNESCO SCHOOL！

本校では2009年（開校2年目）よりユネスコスクールに加盟しています。ユネスコスクールは、ASPnet (Associated Schools Project Network) として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するために発足しました。2013年には60周年を迎え、世界182カ国で約11,500校がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2023年3月現在、1,115校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。

並木中等では「持続可能な明るい社会を担うグローバルエリートの育成」を目標に掲げ、国連の定めたSDGsについての理解を毎日の学校生活で深めながら、地球市民に必要な意識の醸成を図っています。また、希望生徒には海外への留学をサポートするとともに、海外からの交換留学生や修学旅行の受け入れ校として異文化理解や多文化共生についても積極的に進めています。

さらに例年では、4年次にニュージーランド語学研修、5年次にはアジア方面海外修学旅行も実施し、国際化の中で活躍するための手段として、語学だけでなくグローバルな視野を広げる機会を多く提供しています。

国内語学研修（ブリティッシュヒルズ）

藤見 叡悟 3年（守谷市立黒内小学校出身）



◆並木中等教育学校では、2年次の秋に国内語学研修として、ブリティッシュヒルズに行きます。ブリティッシュヒルズは日本に作られた「パスポートのいない英国」とも呼ばれており、日本にいながら海外に行ったような感覚を味わえるところです。もちろん授業は英語、食事の最中も英語、売店やパブ等のすべてで英語を使って生活をします。僕は行く前にすごく不安でしたが、笑顔のネイティブの先生たちに迎えられるのが安心したのを覚えています。授業も机に座ってノートをとるだけの授業ではなく、自分の英語力を駆使して、先生から出された課題を解いたり、自分たちの理想の学校像についてグループでディスカッションしたりなど、刺激があり、楽しかったです。そして、僕が一番とっていいほど楽しかったのが食事です。すべて英語で書かれたメニューが机の上に置いてあったときは、とてもびっくりしましたが、スタッフの方が僕たちにもわかる英語で丁寧に説明してくれました。そして、どの料理もとても美味しかったです。また、テーブルマナー講座を受け、イギリスの食文化にも触れられる貴重な時間でした。◆ブリティッシュヒルズでは、今まで学習した自分の英語力を試すことができます。そして、自分の課題を見つけ、今後の英語学習に活かすことができます。この研修の

経験を経て、僕も「もっとスムーズに英語が話せたらいいな」と強く思い、英語を勉強する励みになっています。



広島・京都平和研修

松坂 心愛 4年（つくば市立春日日義務教育学校出身）

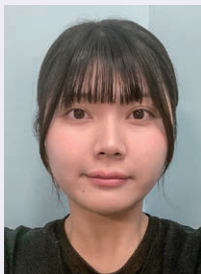


◆私たち13回生は、3年次の11月に2泊3日の平和研修に行き、広島と京都を訪れました。1日目は、広島の原爆資料館や原爆ドーム、平和記念公園に行きました。原爆資料館では被爆直後の写真や被爆者が書いた絵、被爆者の持ち物、衣服などを見て、原子爆弾がもたらした被害の大きさや被爆者の悲愴な思いを感じました。私自身も、とてもしみじみとしたことを覚えています。また、被爆者二世（ご両親が被爆されている方）による平和講話も聞きました。被爆時の状況や原子爆弾の威力などについて、思いのこもったお話をしていただきました。2、3日目は、京都でグループ研修をしました。日本の昔ながらの文化や街並みについて深く学ぶとともに、観光地を訪れたり、工芸体験をしたりと京都を満喫することができました。今回はコロナ禍での研修となり、予定が変更されることも多くありましたが、先生方や旅行会社の方々、親などの支えによって楽しい、実りある平和研修になりました。この平和研修で学んだことを、次の世代に伝承していきたいと思っています。



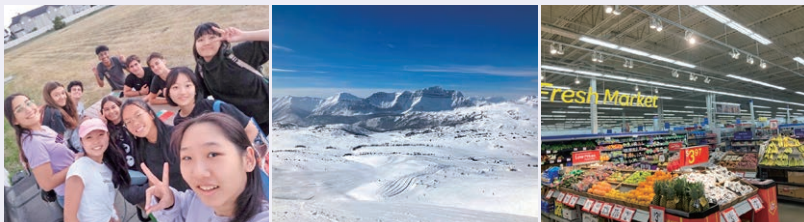
カナダ留学

井口 菜々子 5年（つくば市立春日学園義務教育学校出身）



◆並木中等の先生方は、授業や部活動だけではなく、私たちの国際学習への思いに対しても熱心に対応してください。そんな先生方からたくさん助けていただき、私は無事、念願のカナダ留学の機会を手にできました。◆真冬は-30℃まで下がる極寒の地での寮生活では、世界中から来た留学生と共に暮らします。だからこそ、新たな価値観を得ることができる一方で、戸惑いや辛い経験をすることもありました。涙を流すこともあったけれど、このような毎日の数えきれない貴重な体験・経験が、私のアイデンティティを豊かにしてくれたと思います。◆また、留学を全面的にバックアップしてくれた家族はもちろん、全力で応援してくれた並木の最高の友達、そして留学準備から留学中、留学後のことまで親身にサポートしてくださった先生方。

そんな周りの人の支えがあってこそこの留学だと実感しています。◆まさに、並木にいたからこそできた最高の留学でした。



国際交流ディスカッション、国際言語学オリンピック日本代表

勢子 流叶 6年（龍ヶ崎市立大宮小学校出身）



◆2022年10月に並木中等で行われた国際交流ディスカッションでは、世界8か国出身のディスカッションパートナーと教育や環境という2つのトピックについて意見交換を行いました。会話をする中で、自国の行いを再確認するとともに他国との様々な差異に触れ、興味深く驚かされる機会が多くあり大変大きな経験と学びを得ることができました。国際的な視点で物事を考え、それを海外の方々とも共有できるという貴重な機会をいただける並木中等の環境に感謝しています。私は2023年夏ブルガリアで開催される国際言語学オリンピックに日本代表の一人として参加します。海外での経験を通してさらに視野を広げ、これからも自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

ニュージーランド語学研修

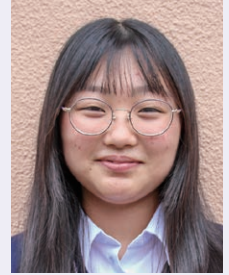
荻原 隆平 5年(つくば市立春日義務教育学校出身)



◆私たち5年次は2023年3月にニュージーランド語学研修を行いました。コロナの影響で昨年夏から延期されての実施となった上、準備期間も例年に比べて短かったのですが、生徒一丸となって準備を進めました。◆2週間に渡る研修は、主にファームステイとホームステイで構成されています。ファームステイではグループに分かれて牧場に3日間滞在しました。馬や牛などの動物との触れ合いや牧場の仕事の体験を行うことができ、牧場一家の生活をもっと体験できる貴重な機会となりました。ホームステイでは原則1人1家庭に滞在しながら現地の高校に通い、英語で授業を受けました。留学生向けの英語の授業であるESOLや現地生徒のバディと受ける一般の授業、マオリ文化の授業など幅広い授業を受けることができました。ニュージーランドは英語や数学といった主要教科と同じくらい実技教科の授業も充実しており、特にバディと受けた音楽の授業はレベルが高く驚きました。バディは14歳と年下だったのですが、授業では並木中等4年次の選択音楽よりも高度な内容を取り扱っていました。休日になるとホストファミリーと博物館や海岸などに行き、充実した時間を過ごすことができました。◆言語も文化も違う土地で2週間過ごすことに最初は不安もありましたが、蓋を開けてみると現地の方々は皆優しく、自分の拙い英語も理解しようとしてくださいました。話していることを聞き取れずこちらから聞き返しても、嫌な顔一つせずに自分が理解できるまでゆっくりと話したり簡単な単語に置き換えたりしてください、かなり助けられました。◆ニュージーランド語学研修を通じて普段授業で学んでいる英語がいかに海外で役立つかを実感できました。この経験を糧にして今後の学習に励んでいきたいです。



稲田 薫子 5年(リリーベール小学校出身)



◆一度延期され、3月となり待ちに待ったNZ語学研修。普段の授業で身につけた英語力を発揮する機会となりました。2週間ほど日本を離れることはもちろん、現地に行った時に英語がうまく通じるかどうか、文化の違う生活に対応できるかどうかなど多くの人が楽しみと共に不安を持って始めました。◆グループでのファームステイや、少ない人数でのホームステイなど、貴重な体験をする中で、現地の英語だけでなく、ニュージーランドの人の優しさにも沢山触れることができました。◆また、異文化に触れることで、日本の事をもう一度考え直す機会にもなりました。この経験は、将来国際社会で1人の大人として生きていく中で、かけがえのない経験です、みなさんも並木中等に来て、NZ語学研修に参加してみませんか？



留学生受け入れ

イメルダ・グレシア・シホタン

(アジアの架け橋プロジェクト、インドネシア・バンドン市出身)

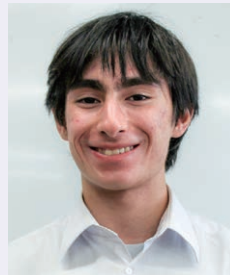


◆茨城県立並木中等教育学校での10ヶ月間の留学はとても思い出に残る経験でした。並木の先生と生徒たちは、日本での交換留学中の学校生活、特に日本語の学習において、私を大いに助けてくれました。最初の3か月間は英語しか話せませんでした、クラスの友達がたくさん日本語を教えてくれたので、日本語を話してコミュニケーションをとることができるようになりました。並木では日本の学校制度だけでなく日本文化についても多くのことを学びました。また、剣道部、水泳部、英語部、茶道部などの課外活動にも参加しました。国際的な活動を歓迎する活動がたくさんある並木中等は、私たちが積極的に世界市民になるのに最適な学校だと思います。先生、生徒、クラブ活動、並木中等の施設のおかげで、私は並木中等で楽しく勉強することができました。私は並木の先生と並木の友達が大好きで、また会いたいです。

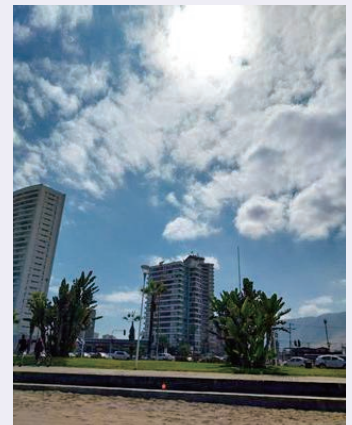


トマス・リケルメ・レウケン

(AFS、チリ・イキケ市出身)



◆私は2023年の3月に来日して、2024年の2月まで約一年間滞在する予定です。私が日本に来た理由の一つは、日本は美しい国だからです。私の故郷のイキケ市は砂漠と海の町で森がありません。日本の自然や緑や花(特にユリが好きです。)が好きで週末には散歩に行き、花の写真を撮っています。また、私は日本の文化、特に宗教(特に神道)に興味があり、寺や神社巡りが好きで御朱印帳も持っています。登山も好きなので、いつか筑波山や、富士山に登ってみたいです。◆並木中等教育学校は私の学校とは全く違います。並木中等教育学校にはもっとたくさんの活動があり、学校生活はもっと充実していて、私はとても気に入っています。私の現在の問題は、日本語でのコミュニケーションだけなので、近い将来、日本語を上達させてクラスメートや学校全体ともっとうまく関わられるようになりたいと願っています。



人間教育

様々な体験から己を知る！

並木中等が目指す人間教育とは、校訓である「自制」「自律」「自尊」やスローガン「Be a top learner!」が表すように、自らを律し学び続ける姿勢を持ち、どんな苦境にも負けない精神力と、いつも周りのことを考えられる人間性を持ち続け、将来日本や世界の平和や発展のために寄与できる top learner を育てることです。その実現のため、授業の勉強だけでなく、「並木3大行事」をはじめとする様々な行事や体験を通して、生徒たちは日々人間性を磨きながら成長していきます。特に、中等教育学校の特性を生かし、異年次縦割り活動を通して、生徒たちの強いリーダーシップと協働して学び合う集団作りを目指します。

並木3大行事

ウォークラリー



60kmの道を完歩する全校生徒参加のウォークラリー

かえで祭



創造と協働で創り上げるみんなが輝くかえで祭

スポーツデー



クラスの団結力が試されるクラスマッチ型スポーツデー

キャリア学習（令和元～4年度の実践より）

6年間を通し、生徒が社会生活についての理解を深め、単に他人との競争のみに追われることなく、自らの在り方や生き方を考えながら、将来の自分の進路について模索することを支援していきます。そのために、生徒の各発達段階に応じて適切な勤労観や職業観を育むとともに、主体的に学習することの意義を理解してもらい、進路発達にかかわる諸能力（「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意志決定能力」）を総合的に深化させていくのが並木のキャリア教育です。



1年次

- キャリア教育校外学習

産業の基礎となる第1、2次産業に関する事業所として、「茨城県畜産センター」と県内にある納豆工場を見学しました。農業や工業の特色や課題に触れると共に、両事業所とも研究も行っていることから、各産業の最先端の研究にも触れられたことが大きかったです。事業所と研究の両視点から職業についての関心を高め、考えるよい機会となりました。



2年次

- 職場見学・職場体験
- 企業体験型プログラム

職業について考える活動として、かえで祭で行った職業調べとアトラクションの企画があります。また、7月には東京にある様々な事業所の見学・体験を行いました。これらの活動を通して働くことの意味を一人一人が考えたことで、将来の夢の実現に向けて行動していくこととする意識が大きく高まりました。



3年次

- 筑波、茨城大学見学会 ●進路講演会
- 伝統文化講義・ワークショップ

筑波大学、茨城大学を訪問し、将来の進路選択を考える機会を充実させています。また、日本の伝統文化を理解し、それを海外にも発信していけるように、能・狂言の講義を受け、ワークショップを行いました。この成果は、4年次で行く国立能楽堂での鑑賞会実施に活かしていくことになります。



4年次

- 卒業生との学習相談会 ●大学出前授業 ●文理分け進路説明会 ●東大、東工大、一橋大訪問 ●OBOGガイダンス

4月に卒業生から後期生としての学習法を学んでいます。また、7月に12分野に分かれて大学の教員からの模擬授業を受け、10月に文理分け進路説明会、11月に東大・東工大・一橋大の訪問を行っています。さらに、1月には卒業生による大学・学部の紹介や受験勉強の成功・失敗体験等を聞き、大学進学に向けての目標設定の一助としました。



5年次

- 大学出前授業

4、5次生が聴講する「大学出前授業」。先端生命科学や地球惑星科学、比較文化学など、様々な分野から2講義を選択します。大学の専門の先生方が、高校生の目線で専門分野についてわかりやすく講義してくれます。将来学びたい学問分野への動機付けとして、貴重な機会となりました。



6年次

- OBOGガイダンス

7月のガイダンスでは、卒業生から大学および学部の紹介、受験勉強の体験談を話していただきました。質疑応答は座談会形式で実施しているクラスが多く、皆が真剣に質問している姿が印象的でした。受験勉強の本格化する夏を前に、受験に対する意識を高め、具体的な行動に移すためのよい機会となりました。

学級づくり合宿（鴨川）



前田 菜々子 2年（つくば市立学園の森義務教育学校出身）

◆私たち15回生は、昨年5月に2泊3日で千葉方面に行きました。◆1日目の千葉市科学館では、プラネタリウムを見たこと、モールズ信号を送れる機械を使ったことが印象に残っています。◆1日目の夜と3日目の屋の2回にわたり鴨川シーワールドを訪れました。屋は大迫力のシャチのショーやペルーガを見ることができて面白かったです。夜の水族館は初めてだったため、貴重な経験になりました。◆2日目は、5人グループでチェックポイントを回り、ゴールを目指すウォークラリーを行いました。大変でしたが、ゴールしたときの達成感はとても大きかったです。また、カッターという大型のボートに約25人で乗り、オールを協力して漕いで、港の中を一周しました。生徒の中には、カッターに2回乗るパワフルな人もいました。◆入学してまだ慣れない中でしたが、この合宿を通してクラスの人とたくさん話すことができ、お互いのことを知る良いきっかけとなりました。

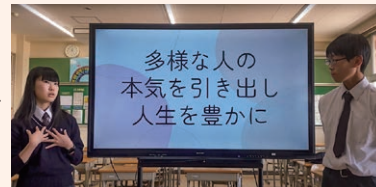


クエストカップ2023全国大会企業探究部門企業賞



松下 奈央 3年（土浦市立土浦第二小学校出身）

◆14回生は昨年度、クエストエデュケーションに参加しました。クエストエデュケーションは2005年から始まり、これまでに約35万人以上の中高生が参加している探究学習プログラムです。私たちは、複数ある企業探究コース、コーポレートアクセスに参加しました。実在する企業にインターンとして、企業からのミッションを受け取り、企画を考え、最後に自分たちが考えた企画を企業の方へプレゼンします。プレゼンする時にどのように提案をしたら最も効果的に企業に伝わるのか、発表内容や構成、演出を考えました。個人的に難しかったことが2つあり、1つは折り合いをつけることです。チームで考えていくので、意見が分かれることがあります。そんな時、お互いの意見をどれくらい反映するかを決めるのがかなり難しかったです。もう1つは、言葉にすることです。曖昧なところをひとつひとつに伝わる言葉にすることは想像以上に難しかったです。しかし、これらの経験を通し、判断力や人に伝える力が身につく、成長できたと思います。



並木メソッド 6年間のながれ

— 新しい時代を生き抜く力である「探究力」、「論理力」の育成 —

並木メソッドとは：一人ひとりの進路実現を目指す6年間を見通した学習と、物事の本質を深く探究する並木中等独自の体験活動。

課題探究とは：並木メソッドの集大成として、4～6年次に1つのテーマを自ら定めて行う探究活動。授業としてゼミ形式で展開している。

	目的	総合・課題探究における活動内容	年次行事及び各教科との連携
1年次	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集能力を身につける (図書館の活用方法、朝日けんさくくんの検索方法) テーマ設定能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 自分は何に疑問を持っているか 何が課題なのか 何を解決しなければいけないのか 調べたことから考察する力の育成 プレゼンテーション能力の育成 (スライド作成、口頭発表、論理力) 	<p>かえでツアリスト：かえで祭で発表 (GWに自分の住んでいる地域を調べる。(4月～6月))</p> <p>ミニ課題探究Ⅰ (個人研究) 研究テーマは「世界の社会問題」 テーマ設定能力の育成 学年発表会での口頭発表によりプレゼンテーション能力の育成</p> <p>多読プログラム 長期休業中に本を読み、読後、レポート発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語：プレゼン、ディベートの仕方。説明文の読み方、多様なジャンルの文章の精読 技術：ポスター、スライドの作り方 数学：中2、数ⅠAの先取り学習、少人数指導 社会科：社会的事象に関わりの深い様々な施設を見学し、自分なりの考えを持ち表現する 理科：基礎期として観察・実験中心の授業を通じた実験観察技能や理科の見方・考え方の育成、レポートの重点指導、課題解決型実験の取り入れ 英語：インタラクティブフォーラムに向けての会話練習活動、海外青年協力隊の方たちの講話 <p>●つくばサイエンスフロント (つくば研究機関探訪)</p>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、将来について考える。 テーマ設定能力の育成 自分は理系・文系のどちらに興味が強いか 研究手法 (インタビュー、フィールドワーク、アンケート、実験、観察) を身に付ける データから分析・考察する力を身に付ける レポート作成能力の育成 プレゼンテーション能力の育成 	<p>キャリア教育：かえで祭で発表 産業や職業を調べる。(4～6月)</p> <p>ミニ課題探究Ⅱ (個人研究) 研究テーマは「身近な疑問を解決する」 テーマ設定能力の育成 学年発表会でのポスター発表によりプレゼンテーション能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語：説明文の読み方、多様なジャンルの文章の精読。文献調査、アンケート調査の仕方 英語：インタラクティブフォーラム活動 (話を聞く、考えを伝える) 技術：ポスター、スライド作成技術の向上 数学：中3、数ⅠAの先取り学習 <p>●つくばサイエンスフロント (つくば研究機関探訪)</p> <p>●英語：イギリスの中学生との文通活動 ●社会：文献の検索、メディアリテラシー</p> <p>●国際理解・英語学習 (プリティッシュビルズ語学研修) 英語でインタビューを実施。後に英語で新聞作成と発表</p>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> テーマ設定能力の育成 グループで学び合う力 (理系的アプローチ、文系的アプローチ) 研究手法 (インタビュー、フィールドワーク、アンケート、実験、観察) を身に付ける データから分析・考察する力を身に付ける レポート作成能力の育成 プレゼンテーション能力の育成 	<p>研究分野説明 ・分野の特徴等を聞く。(総合) ・先行研究調べ (先輩、筑波大、CiNii、J-STAGE)</p> <p>ミニ課題探究Ⅲ (グループ研究) 研究テーマは「地域の社会問題」 テーマ設定能力の育成 レポート作成能力の育成 学年発表会での口頭発表によりプレゼンテーション能力の育成</p> <p>ゼミを選ぶ</p> <p>課題探究Ⅰ～Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語：説明文の読み方、多様なジャンルの文章の精読 英語：英語でのプレゼン練習、テーマを決めてのモノローグスピーチ 社会：NIEコンクールへの出品 理科：充実期として課題探究を中心とした科学的な見方や考え方の育成、物理基礎、化学基礎、生物基礎の先取り学習 <p>●つくば市との社会問題ミーティング</p> <p>●数学：数学に関する課題探究を実施 ●社会：現代社会の先行実施と科学倫理に関する討論 ●英語：英語でアンケートを作成・実施</p> <p>●広島・京都平和研修 (社会見学、文化理解、平和教育)</p>
4年次	<ul style="list-style-type: none"> 中高一貫教育を活かした探究力・論理力の育成 探究力：課題を自ら見つけ、論理的に解決策を考えて行動し、課題を解決していく力 論理力：相手の主張の筋道を読み解き、自分の考えを整理して伝える力 研究テーマ設定能力の育成 研究手法 (インタビュー、フィールドワーク、アンケート、実験、観察) を身に付ける データから分析・考察する力を身に付ける レポート作成能力の育成 プレゼンテーション能力の育成 	<p>ゼミに所属</p> <p>研究の構想をたてる (探究ノートを利用して)</p> <p>仮テーマ決定</p> <p>構想発表会 スライドによる口頭発表 (発表6分、質疑応答4分)</p> <p>中間発表会 スライドによる口頭発表 (発表6分、質疑応答4分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語：文章要約の仕方 数学：数ⅡBの先取り学習 情報：著作権、引用について 英語：英語での新聞作成、発表練習、英語による司会進行の練習 (NZ等に向けて) 課題探究基礎：論文の書き方、検索の仕方 <p>●NZ海外語学研修 (英語でのコミュニケーション、異文化体験)</p> <p>●英語：ディスカッション活動 (自分の考えを述べる) ●国語：4、5年で科学的分野の評論を読み、小論文へつなげる。小論文模試の実施 ●理科：自分の探究活動に関係する学術論文を読む ●理科：4、5年で科学英語 (実験を英語で実施)</p>
5年次	<ul style="list-style-type: none"> 研究デザイン能力 (研究の途中段階で得られたデータから課題を見つけ、研究をデザインしていく能力) の育成 プレゼンテーション能力の育成 	<p>研究展開</p> <p>校内発表会 口頭発表およびポスター発表 研究成果を発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語：ディベート活動、修学旅行に向けた英語によるプレゼンテーション、時事英語、探究活動で作成した論文の要約の英訳 理科：外部講師を招き、科学的な事象への興味・関心を高める 数学：数Ⅲの先取り学習 <p>●アジア方面海外修学旅行</p>
6年次	<ul style="list-style-type: none"> レポート作成能力の育成 論理力の育成 TO (teaching others) 学習によるアクティブラーナーの育成 	<p>研究論文作成</p> <p>研究論文提出 (A 4 10ページ以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語：評論教材の精読・要約 数学：習熟度別授業を実施 英語：ディベート活動を継続し、関連した大学入試自由英作文問題を紹介しながら入試問題との関連を意識させる。

令和2年度～令和5年度 大学入試合格状況

(卒業生数 10回生:144名、9回生:147名、8回生:144名、7回生:152名、6回生:153名、5回生:155名、4回生:158名、3回生:151名、2回生:114名、1回生:113名) ()内は過年度生

国立大学	総計*	R5	R4	R3	R2
北海道大学	38(8)	3	5(1)	4(3)	4
室蘭工業大学	1(1)				
帯広畜産大学	7(1)	1			1
弘前大学	2	1			
岩手大学	1(1)				
東北大学	60(8)	4	10(1)	8(1)	9(2)
宮城教育大学	1				1
秋田大学	1	1			
山形大学	4				
茨城大学	69(9)	7(1)	7(1)	3	5(2)
筑波大学	186(20)	13(3)	25	22(1)	18(2)
宇都宮大学	6(2)	2	1(1)		2
群馬大学	9(2)		2	1	4(1)
埼玉大学	17(4)	2(1)	1(1)	4(1)	2
千葉大学	44(5)	7(1)	3(1)	3	7
東京大学	64(8)	9	9(2)	4	10(2)
東京医科歯科大学	10	1		2	2
東京外国語大学	10		1		2
東京芸術大学	2(1)	1(1)			
東京工業大学	16(4)	1	5(1)		
お茶の水女子大学	17(1)	1	1	3	4
東京学芸大学	15(1)	2	1	1	3
東京農工大学	9(3)		2	1(1)	1
電気通信大学	9(3)	2		2	2(1)
一橋大学	10	2	2	2	1
東海大学	6(2)	2		1	
横浜国立大学	13(1)	2		2	2
新潟大学	4(1)				
富山大学	4		1	2	
金沢大学	2(1)				
福井大学	2(1)				1
信州大学	10(3)	1			1
岐阜大学	1			1	
静岡大学	9(2)		1(1)		1
静松医科大学	2(1)				
名古屋大学	12	2	2	1	
名古屋工業大学	4(1)		2(1)		
名古屋芸術大学	22(5)	5(2)	5(1)	1	1
京都芸術繊維大学	3			1	
大阪大学	15(3)	3(1)	1	3(1)	2
神戸大学	6(1)	2	1		
鳥取大学	1(1)		1(1)		
島根大学	2(1)				
広島大学	9(4)	1(1)			3(1)
山口大学	1(1)				
徳島大学	1				1
香川大学	1				
愛媛大学	2(1)				
高知大学	3(2)		1(1)	1	1(1)
九州大学	5(1)	1	1(1)	1	
熊本大学	2				
分科大学	3(1)	1			
宮崎大学	2(1)				

鹿児島大学	2(2)				1(1)
琉球大学	3				
琉球大学合計	786(119)	90(11)	90(14)	90(10)	92(12)

国立大学校	総計*	R5	R4	R3	R2
防衛医科大学校	10(4)		3(2)	1	1(1)
気象大学校	3(1)			1(1)	
国立看護大学校	1				
防衛大学校	14	1	1		
国立清水海士技術短期大学校	1			1	
国立大学校合計	30(5)	1	4(2)	3(1)	1(1)

私立大学	総計*	R5	R4	R3	R2
青山学院大学	77(3)	7	12	7	10(2)
学習院大学	47(8)	3	6(1)	4	4
慶應義塾大学	109(14)	15(3)	15(1)	10	20(2)
芝浦工業大学	102(31)	8(2)	9(1)	7	13(9)
上智大学	70(4)	13(2)	3	9	9(2)
中央大学	99(11)	13	8	18	13(2)
東京理科大学	298(74)	38(4)	47(6)	43(4)	24(8)
日本大学	113(20)	13	6	10(1)	13(4)
法政大学	127(19)	12(1)	8(2)	15(2)	12
明治大学	181(21)	32(4)	24(2)	29(4)	17(2)
立教大学	116(3)	6(1)	11	14	15
早稲田大学	190(24)	31(5)	20(1)	21(1)	24(2)
その他の大学	1355(158)	154(4)	145(35)	138(12)	119(20)
私立大学合計	2884(390)	345(26)	314(49)	325(24)	293(53)

公立大学	総計*	R5	R4	R3	R2
釧路公立大学	1				
青森県立保健大学	1				
秋田県立大学	1		1		
国際教養大学	5				2
福島県立医科大学	3(2)	1			1(1)
茨城県立医療大学	13		1	1	2
高崎経済大学	7	2			2
前橋工科大学	3	1		1	
群馬県立女子大学	3	1		1	
埼玉県立大学	6		1	1	
千葉保健医療大学	2			1	
東京都立大学	20(1)	2		3	2
横浜市立大学	6	1			
神奈川保健福祉大学	1			1	
新潟県立大学	2				
都留文科大学	1				
山梨県立大学	2			1	
長野県立大学	1			1	
長野大学	2				
静岡県立大学	3(2)				1(1)
名古屋市立大学	4			1	
京都府立大学	1		1		
大阪府立大学	2(1)				
県立広島大学	1				
尾道市立大学	1(1)			1(1)	

北九州市立大学	1	1			
長崎県立大学	1	1			
名桜大学	1				
公立大学合計	95(7)	10	4(1)	12	11(2)

医学部医学科(重複掲載)	総計*	R5	R4	R3	R2
北海道大学	2		1		
弘前大学	1	1	1	1	
東北大学	5(1)		1	1	
秋田大学	1	1			
山形大学	2				
福島県立医科大学	2(2)				1(1)
筑波大学	27(10)	3(1)	5	5(1)	2(1)
群馬大学	1				1
千葉大学	2(1)	1	1(1)		
東京大学理Ⅲ類	1				
東京医科歯科大学	6			1	
信州大学	1				
福井大学	1				1
富山大学	2			1	
浜松医科大学	2				
岐阜大学	1			1	
名古屋市立大学	1			1	
京都大学	1(1)		1(1)		
愛媛大学	1(1)				
高知大学	1(1)				1(1)
広島大学	1(1)				1(1)
鳥取大学	1(1)		1(1)		
島根大学	1				
九州大学	1(1)			1(1)	
大分大学	1				
宮崎大学	1(1)				
防衛医科大学校	10(4)		3(2)	1	1(1)
東北医科大学	2(2)				1(1)
国際医療福祉大学	9(5)		1(1)	4(1)	1(1)
自治医科大学	6(1)			1(1)	
獨協医科大学	3(2)			1(1)	1
埼玉医科大学	2				2
北里大学	1(1)				
慶應義塾大学	2			1	
順天堂大学	3(2)		1(1)		1(1)
昭和大学	3(1)				1
帝京大学	3(2)		1(1)		1
東海大学	1(1)				
東京医科大学	1				
東京慈恵医科大学	1(1)		1(1)		
東邦大学	3(3)	1(1)			
日本大学	2(2)				1(1)
日本医科大学	4(4)		1(1)		
聖マリアンナ医科大学	1			1	
兵庫医科大学	1(1)				
医学部医学科合計	125(53)	7(2)	19(10)	19(5)	17(9)

*総計は1回生から10回生までの合格者数(延べ人数)を示す。

並木メンソッド 6年間のながれ

大学入試合格者数

卒業生からのメッセージ



池上 凜 (つくば市立春日学園義務教育学校出身)
東京大学 理科二類

◆今、私は東京大学に通っています。並木中等での6年間は充実したものでした。私は在校時、テニス部で活動をしていて部長も務めていました。そして、生徒会長もやりましたし、かえて祭の実行委員も務めました。このように並木中等教育学校は望んで、努力を惜しまなければ、さまざまなことにチャレンジできる学校です。また、学習もとても充実しています。私が日本の最難関大学である東京大学に進学することができたのも先生方が親

身になって教えてくださったこと、そして、周囲の人々に恵まれたからだと思います。
◆入学時は不安なこと多かったです。6年間とてもいい友達にも恵まれ、楽しい学校生活を送ることができました。こんなたくさんの方々の経験もでき、学習環境も整った学校で生活ができたことを誇りに思うと同時に、並木中等で過ごした6年間はとても幸せなものだったと感じます。みなさんもぜひこの学校で充実した6年間を過ごしてみませんか。



落合 末結 (つくばみらい市立陽光台小学校出身)
筑波大学 医学群医学類

◆私たちは、後期生として過ごす3年間がコロナ禍でした。楽しかった行事や海外研修が中止となり、部活動も制限され、何より普通だと思っていた学校生活が普通ではなくなりました。それでも並木中等は突然の苦難にも屈することなく、私たちは新たな形で様々な活動ができました。例えば私は、留学生との国際交流、国内語学研修、産総研へのインターンシップ、科学の甲子園出場、専門家のお話が開けるサイエンスカフェへの参加、食育に関する有志活動への参加など、掘め

るチャンスを最大限利用してきました。
◆並木中等はハイレベルな教育を受けられる場であることももちろん、最高の仲間に出会うことができる場所です。自分の目標に向かって全力で努力し続ける友人に囲まれ、良い刺激を受けることと思います。中高6年間を共に過ごした友人はかけがえのない存在です。
◆並木中等では、勉強、部活、または自分の趣味に打ち込んだり、新しいことに挑戦したり、やりたい活動を立て上げたりすることもできます。生徒全員の「やってみよう」「頑張りたい」という思いを叶えてくれる学校です。みなさんにも、並木中等で自分らしく輝ける充実した6年間を過ごしてほしいと願っています。



長岡 桜介 (つくば市立谷田部小学校出身)
神戸大学 経済学部

◆こんにちは。令和5年に並木中等教育学校を卒業した長岡桜介です。並木中等には、国際教育や科学教育が充実している、プライトホールなどの学習環境が整っている、中高一貫校なので部活に打ち込みやすい等の強みがあります。そんな色々な特長がある中で、僕が最も強調したいのは、才能豊かな友人ができることです。部活で全国レベルで活躍する人、研究費をとる人、模試で上位に名を連ねる人等、並木中等では多くの人が才能を

開花させています。そのような人たちと多感な6年間を共に学び、交友を深められることは何物にも代えがたいものです。僕自身、そのような人たちと切磋琢磨してきたことで成長できたと感じています。
◆僕は今、大学で経済学を学んでいます。大学には、今までとは比べ物にならない程いる人がいて、もちろん自分より優秀な人もたくさんいます。その中で、劣等感を持たず、自身の目標に向かって努力できているのは、並木中等での6年間があったからだと信じています。



関 杏純 (水戸市立吉田小学校出身)
東京大学 文科二類

◆並木中等には、最高の学習環境が整っています。先生方の熱心なご指導により、私は確かな学力を身につけることができました。また、勉強だけではなかった様々な学びの場があることも並木中等の強みです。入学当初からさまざまな地域出身のクラスメイトに刺激を受けました。また、積極的に参加したSSH講座や金曜講座では幅広い分野の学問に触れることができました。これらの講座を通して身につけた知識は私の視野を広げてくれただけ

でなく、進路を決める際にも大いに役に立ちました。
◆また、6年間切磋琢磨し合える友人と出会えたことはとても幸せでした。仲間と一緒に作り上げたかえりや励まし合いながら歩いたウォークラリーなどの行事は、とても充実していました。友人と励まし合って乗り越えた受験期は、いい思い出です。
◆並木中等での充実した6年間は、私にとってかけがえのない宝物です。
◆皆さんも積極的に様々なことに挑戦して、学校生活を楽しんでください！

部活動・学校行事



陸上



水泳



バスケットボール



卓球



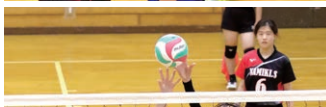
ハンドボール



軟式野球



美術・写真



バレーボール



英語



弦楽アンサンブル



バレーボール



サッカー



文芸

運動部	陸上(男、女)／水泳(男)／バスケットボール(男)／サッカー(男)／剣道(男、女)／テニス(男、女)／卓球(男)／ハンドボール(女)／軟式野球(男)／バレーボール(女)
文化部	美術・写真／英語／吹奏楽／弦楽アンサンブル／演劇／茶華道／囲碁将棋／文芸／科学研究
同好会	ラグビー／ハンドボール(男)／水泳(女)／鉄道研究

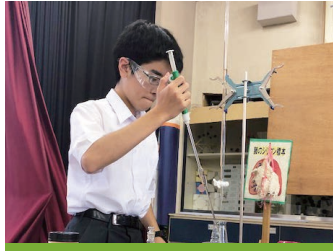
○前期生(1～3年次)の加入率は93% ○後期生(4～6年次)の加入率は75% ○全校加入率84%

令和4年度の部活動・同好会の主な実績

陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県高等学校陸上競技対校選手権大会 男子5000mW第1位／女子100mH第8位 関東高等学校陸上競技対校選手権大会 男子5000mW第6位 茨城県陸上競技選手権大会 男子5000mW第3位／男子少年B3000m第6位／女子七種第4位 茨城県高等学校陸上競技個人選手権大会 男子5000mW第1位／女子5000mW第6位／女子やり投第7位／1年男子100m第8位 茨城県高等学校成蹊陸上大会 女子七種第4位 関東陸上競技選手権大会 男子5000mW出場／女子七種出場 茨城県高等学校陸上競技新人大会 女子やり投第5位／女子5000mW第7位 関東高等学校選抜陸上競技新人大会 男子5000m出場 茨城県高等学校駅伝競走大会 女子第8位 全日本中学校通信陸上競技茨城大会 女子100mH第7位・第8位／1年女子100m第3位／1年男子走幅跳第7位 県民総合体育大会中学校大会陸上競技 女子100mH第8位／女子200m第8位／女子四種第7位 関東中学校陸上競技大会 1年女子100m出場 茨城県中学校新人体育大会陸上競技 1年女子100m第2位
男子水泳部	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第58回茨城県民総合体育大会水泳競技大会兼第77回国民体育大会 水泳競技第2位 令和4年度関東高等学校選抜水泳競技大会兼第44回関東地域春季水泳競技大会 第5位 令和4年度第73回関東高等学校水泳競技大会茨城県予選会兼第71回茨城県高等学校選手権水泳競技大会 水泳競技第2位 令和4年度第73回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第90回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会 水泳競技出場 第46回関東中学校水泳競技大会 男子100mバタフライ出場／男子200m個人メドレー出場／男子400m自由形出場
吹奏楽部	<ul style="list-style-type: none"> 第28回関東吹奏楽コンクール高等学校B部門 金賞(本校初) 第28回関東吹奏楽コンクール中学校B部門 銅賞 第28回日本音楽合奏コンテスト全国大会 中学校A部門 優秀賞 第28回関東アンサンブルコンテスト中学校部門 クラリネット四重奏 銀賞
文芸部	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第2回茨城県高等学校文芸部中央大会散文の部 優良賞
囲碁将棋部	<ul style="list-style-type: none"> 第38回関東地区高等学校囲碁選手権大会 団体戦・個人男子19路盤出場
弦楽アンサンブル部	<ul style="list-style-type: none"> 第46回全国高等学校総合文化祭器楽・管弦楽部門茨城県合同チーム参加
美術部	<ul style="list-style-type: none"> 日学・黒板アート甲子園2022ジュニアの部日本白墨工業賞受賞
鉄道研究同好会	<ul style="list-style-type: none"> 第14回全国高等学校鉄道模型コンテスト 理事長特別賞
女子水泳同好会	<ul style="list-style-type: none"> 第46回関東中学校水泳競技大会 女子4×1000mメドレーリレー出場／女子50m自由形出場／女子100m自由形出場／女子100m平泳ぎ出場 茨城県中学校新人体育大会水泳競技 女子チーム総合第3位／女子4×50mメドレーリレー第3位／女子50m自由形第3位



吹奏楽



科学研究



テニス



演劇



剣道



囲碁将棋



茶華道

○学校行事(例年の予定)

	前期課程	後期課程
4月	始業式／入学式／交通安全教室／実力テストⅠ(2年次以上)／防災訓練 オリエンテーション(1年次) 学力推移調査	
5月	PTA総会／部活動保護者懇談会／定期テストⅠ(2年次以上)／生徒総会 学級づくり合宿(1年次)	
6月	かえで祭(文化祭)／SSH講演会／定期テストⅡ つくば市総合体育大会	文化芸能体験(4年次)
7月	生徒会役員選挙／保護者面談 県南総合体育大会 県総合体育大会	県高校総体 課題探究構想発表会 大学出前授業(4・5年次)
8月	学校説明会 課題解決週間	NZ海外語学研修(4年次) 夏期ゼミ
9月	定期テストⅢ／スポーツデー／前期終業式 つくば市新人体育大会 進路説明会(3年次)	
10月	後期始業式／WR(ウォークラリー)／学校公開／避難訓練／定期テストⅣ 県南新人体育大会 県新人体育大会 大学訪問(3年次)	進路説明会(4年次) SSHハイワイ研修(4年次希望者)
11月	課題探究校内発表会／さわやかマナーアップキャンペーン 国内語学研修(2年次) 国内平和教育研修(3年次)	大学訪問(4年次) アジア方面修学旅行(5年次)
12月	保護者面談	
1月	実力テストⅡ／入学者選抜	大学入試センター試験(6年次)
2月	定期テストⅤ キャリア学習(1・2年次)	
3月	卒業式／SSH成果報告会(3・4・5年次) 修了式	進路状況説明会(4・5年次) 春期ゼミ

在校生からのメッセージ

赤尾 勇人

生徒会長 6年(つくば市立春日学園義務教育学校出身)

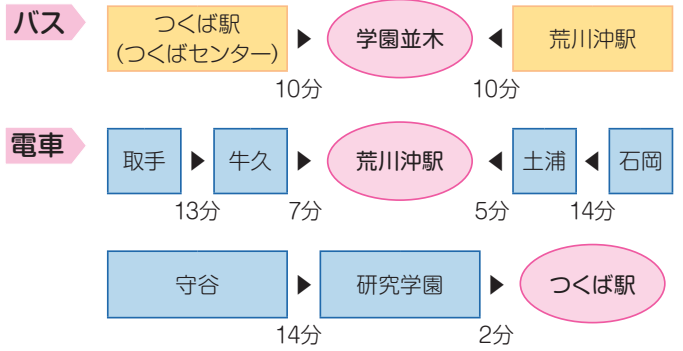
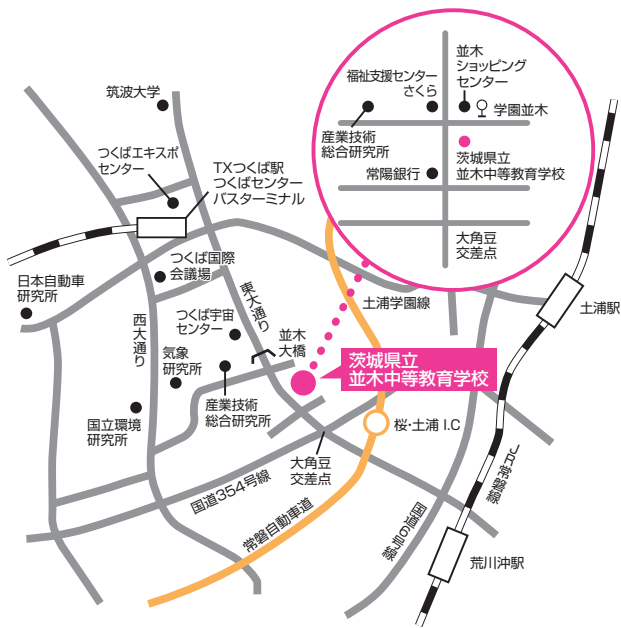


◆皆さんは並木中等にどういった印象をお持ちでしょうか？一般的に並木中等とは学力に秀でており真面目で優等生タイプの生徒が多いイメージがあると思いますが実際はそうでもありません。確かに並木中等は進学校とって差し支えなく、在校生も相応の学力を有していますがどの生徒も学力以上の「個性」

を持っています。普通の学校なら6年間も同じ年次の仲間と学校生活を送ってれば次第に毎日の生活に刺激が無くなり学校生活を退屈だと感じてしまうこともあるでしょう。しかし僕が並木中等に入学してから今年で5年以上が経過していますが学校生活を退屈に感じたことは一度もありません。もちろんそれは並木中等の熱意溢れる先生方のご指導や特に科学や情報面で優れた設備の賜物でありとてもありがたく感じています。でもやはり僕が並木中等の最も秀でていると思うのは前述した通り在校生一人一人が眩いばかりの個性を放っている点です。周りの生徒全員が自分にはないものをもって互いに長所を高め合うことができる。そんな素晴らしい並木中等教育学校の魅力をこの学校案内を読んで少しでも感じてもらえたなら幸いです。

出身小学校別生徒数

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
水戸市立三の丸		1			1	1	3	取手市立戸頭			3				3	守谷市立松前台		1		1		1	3
水戸市立河和田	1			1	1	1	4	取手市立藤代		2		2			4	守谷市立松ヶ丘	2	7	3	3	3	3	21
水戸市立笠原				1			1	取手市立宮和田				1	1	1	3	稲敷市立高木		1		2			3
水戸市立堀原				1			1	牛久市立牛久		2			1	3	稲敷市立新利根				1			1	
茨城大学教育学部附属	1						1	牛久市立奥野					1	1	稲敷市立浮島							1	
笠間市立友部第二				1			1	牛久市立岡田				2	1	3	かすみがうら市立下稲吉				1	1		2	
小美玉市立竹原		1					1	牛久市立久第二			2		3	3	8	かすみがうら市立下稲吉東							2
小美玉市立羽鳥				1			1	牛久市立中根	2	7	5		2	2	18	つくばみらい市立豊							1
小美玉市立堅倉	1						1	牛久市立ひたち野うしく	4	3	3	4	3	2	19	つくばみらい市立谷井田					1		1
小美玉市立納場					1		1	牛久市立向台	1			1	1	1	4	つくばみらい市立三島						1	1
小美玉市立玉里			1				1	牛久市立神谷	2			2	4	8	つくばみらい市立板橋					1		2	
鹿嶋市立大同西	1						1	牛久市立おくの		1		1		2	つくばみらい市立福岡					1		1	
鹿嶋市立鹿島				1			1	つくば市立春日学園	7	7	8	6	9	14	51	つくばみらい市立小絹		1	3				4
神栖市立深芝		1					1	つくば市立栄	2		2				4	つくばみらい市立陽光台	7	7	6	3	4	5	32
行方市立玉造	1						1	つくば市立九重	1			2		2	5	つくばみらい市立伊奈東	1	1					2
土浦市立土浦	1	1	1		2		5	つくば市立業原				1		1	2	つくばみらい市立富土見ヶ丘	3		2		3		8
土浦市立下高津		1	2	1			4	つくば市立竹園東	12	5	8	2	9	3	39	美浦村立木原			1				1
土浦市立東	1	1	1	1		1	5	つくば市立竹園西	15	10	15	11	9	7	67	美浦村立大原					1	1	2
土浦市立大岩田					1	1	2	つくば市立並木	3	5	6	10	6	7	37	阿見町立阿見				1	2		3
土浦市立真鍋				1		1	2	つくば市立桜南	1	3	5	4	5	4	22	阿見町立本郷	1						4
土浦市立都和					1		1	つくば市立谷田部		2	2		2	5	11	阿見町立舟島						2	1
土浦市立荒川沖		4	1	1			6	つくば市立谷田部南	1						1	阿見町立阿見第一				1	1	1	3
土浦市立中村		1	2		1	1	5	つくば市立柳橋		1	3	1			5	阿見町立あさひ	1	2	4				7
土浦市立土浦第二	1		1		2	2	6	つくば市立島名	12	5	7	1	3		28	河内町立かわち学園	1						1
土浦市立上大津東	2		1				3	つくば市立真瀬					1	1	1	古河市立下大野			1				1
土浦市立神立					1	1	2	つくば市立手代木南	2	3	2	2	4	5	18	下妻市立下妻						1	1
土浦市立右羽					1		1	つくば市立葛城	6	2		1			9	常総市立水海道				1	1		1
土浦市立乙戸		2	1		1	1	5	つくば市立松代	4	6	5	2	2	2	21	常総市立大生				1			1
土浦市立新治学園					1		1	つくば市立沼崎	2	2	1	6	2	4	17	常総市立豊岡					1		1
石岡市立石岡			1			1	2	つくば市立今鹿島						1	1	常総市立絹西		1					1
石岡市立府中	1						1	つくば市立田井						1	1	常総市立菅生				1			1
石岡市立高浜				2			2	つくば市立大曾根	1	2	3	3	2	2	13	常総市立玉		1			2	1	4
石岡市立東					2		2	つくば市立前野			1		1		2	常総市立石下					1		1
石岡市立南			1			1	2	つくば市立栗	2		2				4	桜川市立南飯田				1			1
石岡市立杉並				3		1	4	つくば市立吉沼						1	1	桜川市立羽黒					1	1	2
石岡市立林		1				1	2	つくば市立小野川	1	1	1				3	八千代町立中結城	1						1
龍ヶ崎市立大宮					1	1	1	つくば市立二の宮	2	5	3	8	4		22	八千代町立下結城							1
龍ヶ崎市立八原		1					1	つくば市立東	3	3	4	6	3	4	23	私立水戸英宏					1		1
龍ヶ崎市立馴柴	1		1	1		3	6	つくば市立吾妻	6	6	3	7	5	1	28	私立リリーベール	2		2	1	1	1	7
龍ヶ崎市立龍ヶ崎西	1		1	1	1		4	つくば市立荃崎第二					1	1	2	私立つくば国際大学東風					1	1	2
龍ヶ崎市立松葉					1	1	1	つくば市立荃崎第一	1			1	2	1	5	私立開智望				1			1
龍ヶ崎市立長山					2	2	2	つくば市立秀峰筑波		1			1		2	栃木県小山市立大谷北					1		1
龍ヶ崎市立駒馬台				1			1	つくば市立学園の森	15	14	6	14	5		54	埼玉県八潮市立大瀬					1		1
龍ヶ崎市立久保台					1		1	つくば市立みどりの学園	5		3	1	4		13	埼玉県久喜市立太田	1						1
龍ヶ崎市立城ノ内			2				2	守谷市立守谷	2	6	9	5	1	7	30	千葉県柏市立柏第七					1		1
取手市立取手	1	2	1	1			5	守谷市立大井沢	1	4				2	7	千葉県流山市立曙ヶ崎				1			1
取手市立白山		1		1		1	3	守谷市立大野			1				1	東京都練馬区立大泉学園緑						1	1
取手市立取手東		1					1	守谷市立高野		1	2	1	1		5	東京都小平市立小平第三					1		1
取手市立寺原	1				1		2	守谷市立黒内	5	3	3	3		1	15	愛知県名古屋市立西山			1				1
取手市立永山		1			1		2	守谷市立御所ヶ丘		1		1	2	1	5	愛媛県松山市立道後					1		1
取手市立取手西					4		4	守谷市立郷州	3	1	1		3	1	9	計	160	160	159	156	155	145	935



茨城県立並木中等教育学校

〒305-0044 茨城県つくば市並木4丁目5番1
 TEL 029-851-1346 [代表]
 FAX 029-852-5030
 URL <https://www.namiki-cs.ibk.ed.jp/>
 E-mail ac-koho@namiki-cs.ibk.ed.jp

